

2026年2月27日、京都府立医科大学にて開催された小線源治療ハンズオンセミナーに、当院から医師3名、診療放射線技師1名、看護師1名の計5名が参加しました。

午前中は小線源治療に関する講義の後、経直腸エコーを用いたニードル刺入シミュレータによるハンズオンセッションが行われました。前立腺小線源治療を想定した実践的なトレーニングを通して、ニードル刺入の角度や位置調整といった基本手技に加え、経直腸エコー画像の見え方やプローブ操作のポイントについても理解を深めました。

午後からは治療計画ソフトウェアである Oncentra を使い、実際の症例を想定した治療計画シミュレーションを行いました。線源配置や線量分布を検討しながら治療計画を作成する演習を通じて、小線源治療における計画立案の重要性について実践的に学ぶことができました。

また、夜には参加施設の医師を中心とした懇親会が開催され、小線源治療を実施している医療機関の医師同士で活発な情報交換が行われました。各施設における治療体制や導入の工夫、臨床現場での課題などについて意見を交わす貴重な機会となり、施設間の連携や交流を深める有意義な時間となりました。

今回のセミナーで得られた知識と技術を今後の診療に活かし、当院における小線源治療のさらなる質の向上と、安全で安心できる医療の提供に努めてまいります。

